

令和6年度 2歳児 年間指導計画

保育目標・心身ともに快適な生活の中で、身の回りの事を自分でできる喜びを味わう。・自己主張しながら友達と遊ぶことを楽しむ。

		1期（4月～5月）	2期（6月～9月）	3期（10月～12月）	4期（1月～3月）
子どもの姿	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 新しい環境に戸惑い、不安な表情を見せる。 好きな遊びを見つけ、落ち着いて遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 身支度や生活の仕方を知り、保育者と一緒にやってみようとする。 友達と遊ぶ中で、玩具の取り合いなどのトラブルも見られるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分でできることに喜びを感じ、身の回りのことを自分でしようとする意識が高まる。 友達とごっこ遊びをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 次にすることがわかり、保育者の声かけで行動に移そうとする。 言葉が豊かになり友達や保育者と会話を楽しんだり、ごっこ遊びや集団遊びを楽しむ。
	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 保育者に見守られ、安心して過ごす中で新しい環境や生活に慣れる。 自分の好きな遊びを楽しんだり、友達の遊びに興味を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者に手伝ってもらいながら、身の回りのことをしようとする。 保育者や友達と関わりながら、夏の遊びを十分に楽しみ開放感を味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者に手伝ってもらったり、見守られて身の回りの簡単なことを自分でする。 友達と一緒に十分体を動かして遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ごっこ遊びや簡単な集団遊びを経験し、友達と遊ぶ楽しさを味わう。
内容	養護	<ul style="list-style-type: none"> 規則的な生活リズムの中で、気持ち良く過ごす。 様々な気持ちを受け止められ、安心して過ごす。 	<ul style="list-style-type: none"> 梅雨や夏の時期に応じた生活を送り、気持ちよく過ごす。 思いや気持ちを受け止められ、安心して自我を表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 気温の変化に応じた生活を送り、健康で快適に過ごす。 思いや気持ちを受け止められ、安心して自己主張する。 	<ul style="list-style-type: none"> 冬の保健衛生に留意し感染予防に努め、健康に過ごせるようにする。 気持ちに共感され、進級に意欲を持つ。
	教育	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な身支度や生活の仕方を知る。 保育者と一緒にトイレへ行き、安心して排泄し、手洗いやトイレの使い方に慣れる。 保育者を仲立ちとし友達と関わって遊ぶ。 生活や遊びの中で、きまりがあることを知る。 遊びの中で大きさや量の違いがわかる。 春の自然に触れながら、戸外遊びを十分に楽しみ満足感を得る。 生活に必要な言葉がわかり、簡単な挨拶や返事をする。 みんなで集まって、保育者の話を聞く。 保育者と一緒に手遊びをしたり、歌ったり、体を動かしたりする。 様々な素材に触れ、表現を楽しむ。 指先で紙や粘土などをちぎることを楽しむ。 ひも通しなど指先を使った遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な身の回りのことをしようとする。（シャツの着脱、たたむ） 自分から伝えたり、保育者に見守られながら排泄する。 保育者や友達に親しみを持って自分から関わろうとする。 友達との遊びや日常生活の中で順番を待つということを知る。 1から5までの数に親しむ。 水遊びなど夏ならではの遊びを楽しむ。 保育者や友達との会話、絵本や紙芝居を通して言葉のやりとりを楽しむ。 保育者や子どもと一緒に好きな歌を歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりして楽しむ。 簡単な形を見立てたり、組み合わせて遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の生活の仕方がわかり、できることは自分でしようとする。（上着に腕を通す、うがい） 尿意・便意を知らせ、自分からトイレへ行き排泄しようとする。 気の合う友達との遊びの中で、積極的に関わりながら自分の思いを相手に伝える。 人や動物などの模倣遊びや、経験した事などを思い浮かべながら、ごっこ遊びを楽しむ。 簡単なルールのある遊びを保育者と一緒に楽しむ。 保育者と一緒に順番を待てるようになる。 散歩に出かけ、自然物を見たり触れたりして秋を感じる。 みんなで集まって、保育者や友達の話聞き、自分でも思ったことを伝えようとする。 音楽に合わせて保育者の動きを模倣し動くことを楽しむ。 のりやはさみ、折り紙など身近な素材や用具に親しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活の見通しを持ち、できることは自分でしようとする。（上着のチャックやボタン） 排泄を知らせ自分でトイレへ行く。 走る、跳ぶ、渡るなど全身を使った遊びを楽しむ。 友達に積極的に関わりながら、相手にも思いがあることに気付く。 ごっこ遊びを通して日常生活の簡単なやりとりをする。 玩具の貸し借りができるようになり友達と楽しく遊ぶ。 1から10までの数に親しむ。 遊びに一定時間集中できるようになる。 正月遊びや、冬ならではの遊びを楽しむ。 絵本や紙芝居などの内容を理解し、楽しんで見たり聞いたりする。 音楽に合わせて体を動かしたり、楽器に触れて楽しむ。 積み木などを使い、イメージした物を作って遊ぶ。
	食育	<ul style="list-style-type: none"> 楽しい雰囲気の中で食事をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 食材に興味を持ち、食べることを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> スプーンの持ち方を意識しながら楽しく食べる。 	<ul style="list-style-type: none"> 食事のマナーを知り、保育者や友達と楽しみながら食べる。
構環境	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの動線や目線に合わせた環境を整え、日々同じ生活の中でゆったり過ごせるようにする。 子どもの興味を把握し、必要な玩具や手遊び・歌を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 水分補給や十分な休息、睡眠に配慮しながら、夏を健康に過ごせるようにする。 衛生面、安全面に配慮し、夏の遊びを楽しめるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 寒さに向け、暖房器具の点検や準備をする。 秋の自然を取り入れて遊ぶ機会を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 風邪予防に努め、温度・湿度・換気に留意する。 冬の自然や近づく春の様子に触れる機会を持つ。 	
の保 援 助 者	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の気持ちを受け止め、安心して過ごせるようにしながら、子どもとの信頼関係を築いていく。 着脱や排泄は、できるだけ一人ずつ丁寧にみる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「自分で」と言う時には見守り、手助けが必要な時はさりげなく援助するなど、自分でしようとする気持ちを大切にしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人にゆとりをもって接し、自分でしようとする様子を見守り認めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人に合わせた援助をし、一人でできた喜びを味わうことで自信が持てるようにする。 	